

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：特別養護老人ホームしおさい新館

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護

日時：令和5年4月7日（金曜日）10時00分～11時00

場所：しおさい会議室

出席者：8人

利用者代表	0人	知見を有する者	0人
利用者家族	2人	大田市職員	1人
地域住民の代表	2人		
事業所職員（職名：施設長 主任 リーダー）			3名

報告事項：

利用状況

- ① 入所者の人数 16名（退所6名 入所5名 定員20名）
- ② 要介護度 要介護5 7名 ・ 要介護4 6名  
要介護3 3名
- ③ 男女比率 男性1名 ・ 女性15名
- ④ 年齢 63歳～98歳 平均89.7歳

介護状況

- ① 起き上がり全介助 16名
- ② 胃瘻 0名
- ③ 排せつ全介助 16名
- ④ チェアインバス：ストレッチャー入浴 11名：5名
- ⑤ 肺炎入院 0名
- ⑥ 褥瘡 1名（病院で形成 徐々に改善）
- ⑦ 重度拘縮 1名
- ⑧ 苦情相談 0件
- ⑨ 身体拘束 0

⑩ 受診以上の介護事故 0件

1、施設長挨拶

この度より新館運営推進会議のメンバーが変わった。市役所からは■■■さんが出席される。また、3月末でビーバードが閉店したため在宅の方は困っていると声が上がっている。

2、新型コロナウイルス感染症対応状況

	しおさいの状況
利用者罹患	なし
職員罹患	なし
面会	窓越し面会継続中 リモート面会 1件

しおさいの面会数も市内、県外から増えている。

3、ユニット活動状況

- ・暖かくなってきたので仁摩の八幡さんへお参りや桜を見に行ったりと外へ出る機会も増えてきた。冬の間は寒くて体も縮こまりやすいが、外にでて体いっぱい深呼吸されており心にも体にも良い影響があると感じた。
- ・新館本館に分かれて少人数で集まって法話会を行った。宗派の違いがあるため参加したい方が参加し、熱心に話を聞きお経も一緒に読まれていた。
- ・今年は天候が良く、長い期間桜を眺めることができた。その為利用者の体調が良い時に散歩や花見へ行くことができた。利用者からも「気持ちが良いね」と気分転換出来た様子。4月は仁摩のお祭りもあるため、外へ出る機会を増やしていきたい。

#### 4、サービス提供の状況

(地域住民代表)面会室の評判はどうか。

→(介護主任)空調設備もあり、マイクもある。耳が遠い方もマイクを使って家族と会話している。

→(ユニットリーダー)職員に聞かれない話もあるため、面会室でプライベートな話ができると嬉しいと声を頂いている。

(地域住民代表)大田市内の福祉施設で外国人は勤めているのか？入所者の方言や言葉が分からず仕事が終わってから講習をしたという話もある。

→(市役所)何人か把握できていないが、施設によって外国籍の雇用はある。言語の部分で慣れない所はあるが、利用者や職員に対しても配慮して気持ちよく対応していると聞いている。

→(施設長)しおさいも将来的にそのような方向になると思う。学生が地元に戻ってこないと外国人に頼るようになる。現地でも日本語を勉強してから来るが、言葉の面では心配はある。

(地域住民代表)コロナが5類になると施設の体制が変わるのか。

→(施設長)市内のコロナ発生状況をみながら対応を変更する。職員の負担軽減の点から、風呂介助の際のマスク着用は検討が必要と感じる。面会や家族に対しては状況をみながら変更していく方向。

→(施設長)5月8日以降になるが、大田市からの派遣介護相談員が施設内に来る予定。利用者の声を聞いたり虐待防止となる。

→(介護主任)施設内で虐待はないが、一人一人に合ったサービスを提供するためにも研修や外部の声や目が必要。

#### 5、事業計画の説明

#### 6、その他

(市役所)コロナ感染後の入院の取り扱いに関して事業所向けの説明会を4月14日に行う。5類になっても感染力が弱まるわけでない。事業所からの意見も伺いたい。この度会議に出席して、利用者や家族に対して細やかな対応をしていると思った。

次回予定 令和5年6月2日(金曜日)10時～11時